学校番号	411

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ａ　Select（東京書籍）						
副教材等	Select Buddy ASSIST 数学Ⅰ＋A　（東京書籍出版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業中の練習問題は必ず自分の力で解いてください。そして間違えた問題は、解説を読み、どこで間違えていたのかを確認しましょう。また、分からない問題も解き方を覚えるのではなく、解説の文章をしっかり理解しながら読み進めてください。
毎回の授業を大切にし、分からない部分があったらその都度質問して、疑問点を解消してください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
場合の数と確率、図形または整数の性質について基礎的な知識の習得と技能の習熟ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
原理、法則を理解し、事象について数学的に考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に課題に取り組み、数学のよさを認識できるとともに、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率，図形の性質または整数の性質において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	場合の数と確率，図形の性質または整数の性質において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。	場合の数と確率，図形の性質または整数の性質における考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	場合の数	集合の要素の個数 数え上げの原則 順列 組合せ	a：基本的な場合の数、組合せについて、正しく理解している。 b：文章題を数学的に考察し、表現することにより、正しく場合の数、組合せを求めることができる。 c ：場合の数、組合せに関心をもち，日常生活などに活用しようとしている。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
	確率とその基本性質・いろいろな確率	事象と確率 確率の基本性質 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件付き確率 期待値	a：基本的な確率の考え方について、正しく理解している。 b：文章題を数学的に考察し、表現することにより、正しく確率を求めることができる。 c：確率に関心をもち，日常生活などに活用しようとしている。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
2	三角形の性質・円の性質	三角形と比 三角形の重心・外心・内心 チェバの定理とメネラウスの定理 円周角の定理 円に内接する四角形 円と接線 接線と弦のつくる角 方べきの定理 2 つの円 作図	a：基本的な平面図形の性質について、正しく理解している。 b：文章を数学的に考察し、表現することにより、正しく図形を描き、求値問題を解くことができる。 c：平面図形の性質について関心をもち，調べてみようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
	空間図形	直線と平面 直線と平面の垂直 多面体	a：基本的な空間図形の性質について、正しく理解している。 b：文章を数学的に考察することにより、正しく図形を描き、求値問題を解くことができる。 c：空間図形の性質について関心をもち，調べてみようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出

3	整数の性質	約数と倍数 最大公約数と最小公倍数 除法の性質と整数の分類 ユークリッドの互除法 1次不定方程式	a:基本的な整数の性質について、正しく理解している。 b：文章題を数学的に考察し、正しく式を導き、求値問題を解くことができる。 c：基本的な整数の性質について関心をもち，調べてみようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
	整数の性質の活用	最小公倍数の活用 ユークリッドの互除法の活用 1次不定方程式の活用	a：ユークリッドの互除法や1次不定方程式について、正しく理解している。 b：文章題を数学的に考察し、正しく式を導き、求値問題を解くことができる。 c：ユークリッドの互除法や1次不定方程式について関心をもち，調べてみようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度